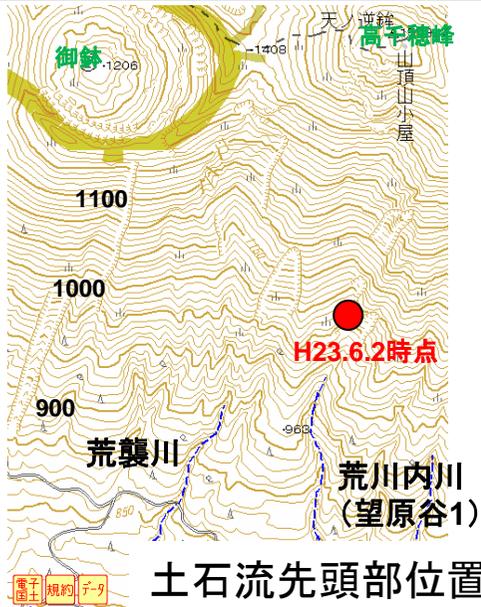


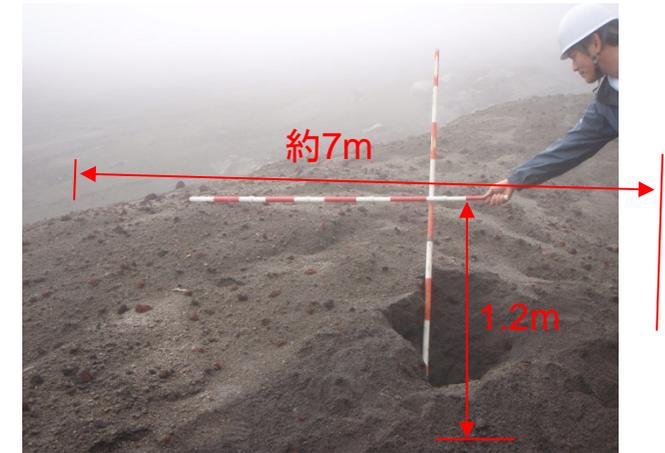
平成23年6月2日荒川内川(望原谷1)上流土石流調査

(調査実施日時:6月2日10-15時)

平成23年5月末の降雨(台風2号の接近に伴う降雨を含む)があったことをうけ、3月3日に荒川内川上流域で確認したごく小規模な土石流の堆積物の状況を確認したところ、その停止位置に大きな前進は見られなかった。ただし、土石流の堆積厚が増加していたことから、3月3日以降の降雨により、上流域からさらに土石流が流下し同地点で停止したものと考えられる。また、周辺斜面においては、リル侵食が認められる等、同河川上流域では、引き続き土石流発生 of 急迫性が高い状況にある。



6月2日 土石流堆積状況(標高約1070m地点)



土石流堆積厚約1.2m



6月2日現地確認リル侵食状況



6月2日 土石流堆積状況(遠景)

